

加齢が原因？「半月板損傷」



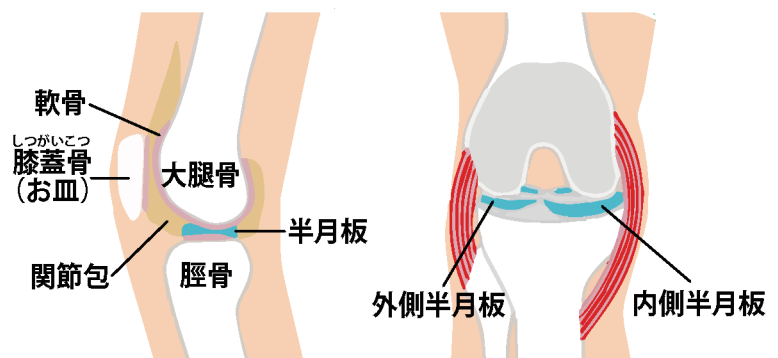
川崎幸クリニック

整形外科医師 山田 直樹（やまだ なおき）



半月板損傷とは

半月板とは、膝関節の大腿骨と脛骨^{けいこつ}の間にある軟骨様の板状の組織で、内側・外側にそれぞれあり、膝関節のクッションとして機能したり、安定性にも関与しています。半月板を損傷すると、痛みや引っかかり感が出たり、膝に水がたまることもあります。スポーツ中の怪我だけではなく、40歳以降になると半月板に加齢性変化が起こり、ちょっとした怪我で損傷し、損傷状態によっては放置すると、軟骨を傷めてしまいます。損傷が広範囲な場合、急に膝が動かなくなる“ロッキング”という状態になり、歩けないほど痛くなることがあります。



半月板損傷の診断方法

徒手検査（患部と思われる部位を動かしたり、延ばしたり、叩いたりすること）や症状の経過からも予測可能ですが、レントゲン写真では半月板は写らないため、MRI 検査で診断します。

半月板損傷の治療～いかに半月板を残すか～

半月板損傷の程度や部位によっては、リハビリテーションや鎮痛薬などの保存治療で症状が改善する場合がありますが、改善しない場合は手術を行います。半月板手術には、半月板切除術（損傷した部分を切り取る）と半月板縫合術があります。半月板には膝関節への衝撃を吸収し安定性を保持する機能があるため、現在では損傷部位を縫合して可能な限り半月板を温存する半月板縫合術が重要視されています。

中高齢者では半月板損傷に加えて軟骨損傷も合併していることが多く、慢性化すると変形性膝関節症を引き起こす可能性もあるため、適切な診断と治療が重要です。ひざの痛み、違和感があるなど気になる症状があれば一度専門の医師に相談することをおすすめします。

診療のご案内



社会医療法人財団 石心会
川崎幸クリニック
受診予約
☎ 044-511-2112
電話予約受付時間
月～金 8:00～20:00 土 8:00～17:00
日祝日 8:30～17:00



医療法人社団 新東京石心会
さいわい鶴見病院
受診予約
☎ 045-581-1417
電話予約受付時間
月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:30
日祝日 休診